

2019年2月 19日  
第117号

# 全労連



全労連  
憲法・平和グループ

## 憲法 平和闘争ニュース

2/14~24 全労連「沖縄県民投票連帯・辺野古新基地建設工事中止を求める全国行動旬間」  
新宿駅西口で宣伝行動

### 辺野古に基地はいらない！ 普天間基地は今すぐ閉鎖！

### 県民投票成功にむけ、沖縄と心一つに連帯してたたかおう

2月18日、辺野古新基地建設に伴う埋立て承認撤回の執行停止を不服とした沖縄県の申し出を審査していた国地方係争処理委員会は、県の申し出を却下しました。また同日、普天間基地の5年の「運用停止」期限が経過しましたが、返還される見込みはありません。今こそ、沖縄と心一つに、県民投票で「新基地建設反対」の圧倒的な民意を示し、民主主義、地方自治が実現する社会へ転換させることを安倍政権に求めていくことが重要になっています。

こうした情勢のもと、全労連は2月19日昼に新宿駅西口で、「沖縄県民投票連帯・辺野古新基地建設工事中止を求める」宣伝行動を行い、全労連・8単産22人が参加しました。「辺野古に基地はいらない」「普天間基地は今すぐ閉鎖」「沖縄の友人・知人に、『埋立て反対に○』で投票するように依頼してほしい」と訴えました。

民主主義・地方自治の無視は許さない  
沖縄のことは沖縄県民が決める



全労連・野村事務局長がトップで訴え。「いつ、ヘリの部品などが落下してくるかという危険がある中で、普天間基地周辺の住民は暮らしている。安倍首相に普天間閉鎖の約束を守らせることが重要。辺野古新基地建設に13年以上もかかり2.5兆円以上の税金が使われる。即刻中止すべきだ。ウソをつかない、約束を守らせる、軍事費でなく国民のために税金を使う政治を実現させよう。統一地方選、参議院選での1票1票で変えよう」と呼びかけま

した。

自治労連の小泉中央執行委員は「2月24日投票で、辺野古米軍基地建設のための埋立ての賛否を問う県民投票が行われている。沖縄県知事選で示された民意を無視し、辺野古への土砂投入が強行されている。これは、民主主義、地方自治を無視するものだ。地方で決めたことを、国がひっくり返すということがあってはならない」と訴えました。

JMITU・木曾さんは「辺野古に行ったことがあるが、美ら海、自然が一度壊されてしまったら元には戻らない。基地は、沖縄にも日本のどこにもいらない。憲法で守られた平和を守っていききたい」と訴えました。

映演労連・金丸委員長は「辺野古に新基地が建設されても、普天間基地は返還されない。5年の運用停止期限は昨日だ。いま日本政府がしなければならないことは運用停止を求めアメリカと交渉することだ」と強調しました。

全労連・長尾副議長は「安倍政権は、普天間基地の危険性を除去するために辺野古に移転させると言うが、それでは解決にならない。普天間基地撤去、県内移設断念が『沖縄建白書』、オール沖縄の求めるものだ。安倍首相は普天間基地を返してほしいと言わずに、日本国民に犠牲を押し付けている。沖縄のことは沖縄県民が決める。平和で豊かな誇りある沖縄を子どもたち、孫たちに手渡そう」と呼びかけました。

全印総連の小澤女性部長は「沖縄のおじいやおばあに話を聞いたことがあるが、土地を基地に提供したおぼえはない、田畑を戦争で奪われ、米軍に奪われたのだと言っていた。基地あるがゆえの事故や犯罪が起きている。どこにも基地はいらない」と指摘。「辺野古を埋立てたらサンゴがなくなり、ジュゴンの餌場もなくなる。今やめれば取り戻せる」と訴えました。

訴えに対し、拍手をしてくれる方、署名をしたいと駆け寄ってくれる方もおり、沖縄の問題は日本全体の問題であることが共有された宣伝行動となりました。

### ★当面の取り組み★

#### 総がかり行動実行委員会「19日行動」

2月19日(火) 18時30分～ 国会正門前を中心に

\* 憲法共同センターは南庭

\* 普天間基地の5年以内の運用停止の期限が切れます。

3月19日(火) 18時30分～ 国会議員会館前

#### 憲法共同センター「9の日宣伝」

3月8日(金) 12時～13時 新宿駅西口

#### 福島を忘れない3.9全国集会 市民と野党の共同で原発ゼロへ

3月9日(土) 13時～14時15分 上野恩賜公園野外ステージ

14時30分～ パレード(御徒町・西町公園まで)

\* 各地の取り組みを成功させましょう。

#### 全労連「原発ゼロ11日(イレブン)宣伝」

3月11日(月) 12時～13時 新宿駅西口